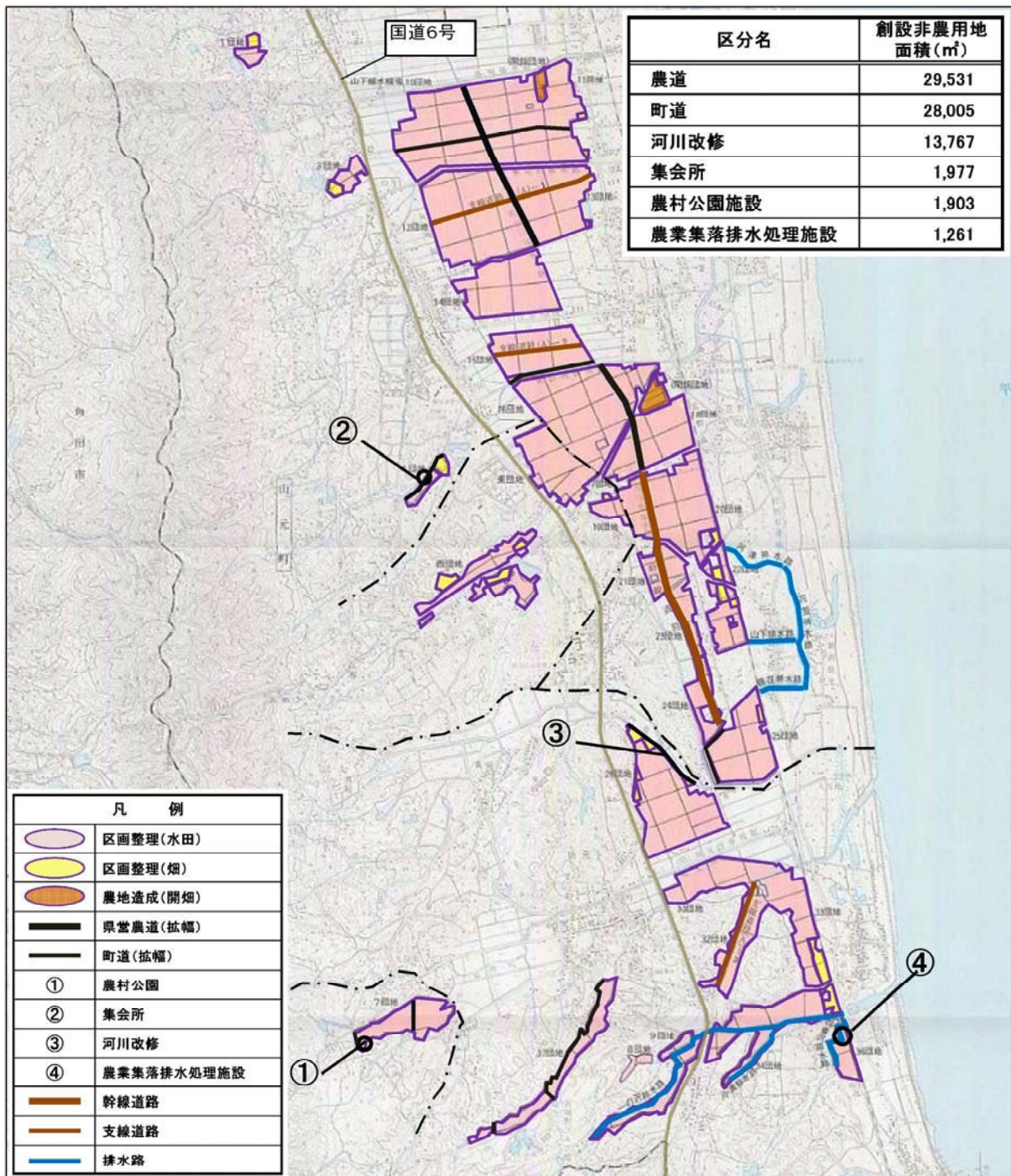


#### (4) 土地利用の整序化

本事業により創設された非農用地は、地区内の道路用地に供され、通行の安全性の向上が図られている。また、農村公園、集会所等の共同利用施設用地や農業集落排水の処理施設用地に供され、地域住民に活用されるなど、土地利用の整序化を通じて、農業生産環境及び農村生活環境の改善に寄与している。

創設非農用地位置図



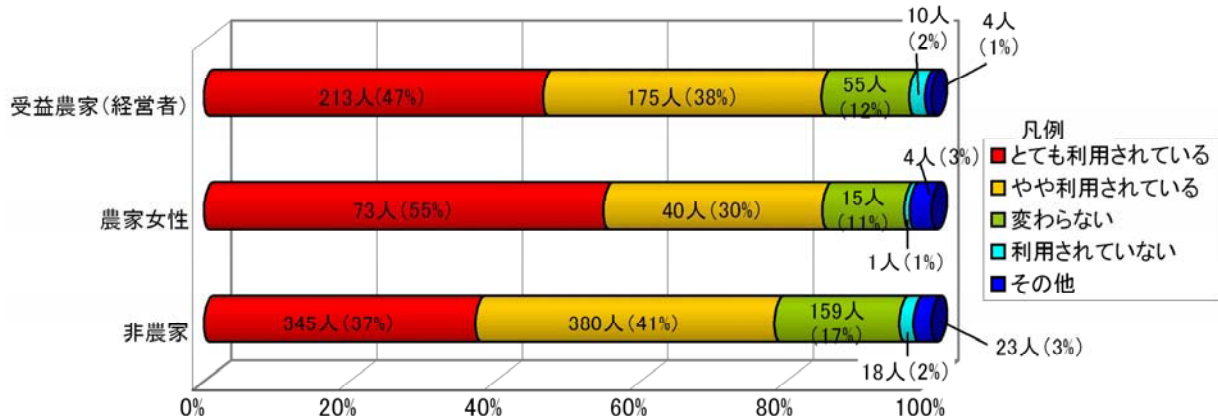
## 共同利用施設等の活用状況

区分名		活用状況等
農道		農産物の輸送、生産資材の搬出入及びほ場と集落を結ぶ連絡道路の役割を果たす他、通勤、通学、散歩道として活用
農村公園		集落周辺の住民の憩いの場となっている他、8月に近隣集落の盆踊りの場として活用
集会所		集落の寄り合い、行事を行う場として、周辺集落に居住する約1,000名が活用
集落排水処理施設		農業集落内760戸の排水を処理

出典：東北農政局調べ

事後評価アンケート調査結果によると受益農家（経営者）及び農家女性の約9割、非農家の約8割が「道路が拡幅されたことによる、通勤、通学、散歩など、地域における利用」について「とても活用されている」または「やや活用されている」と回答しており、受益農家（経営者）及び農家女性の約6割、非農家の約5割が、「共同利用施設が整備されたことによる生活環境の改善」について、「とても改善された」または「やや改善された」と回答している。

### 「道路が拡幅されたことによる、通勤、通学、散歩など、地域における利用」に関する回答結果



注1) 受益農家(経営者)：回収数555人のうち、無回答を除く457人による回答結果

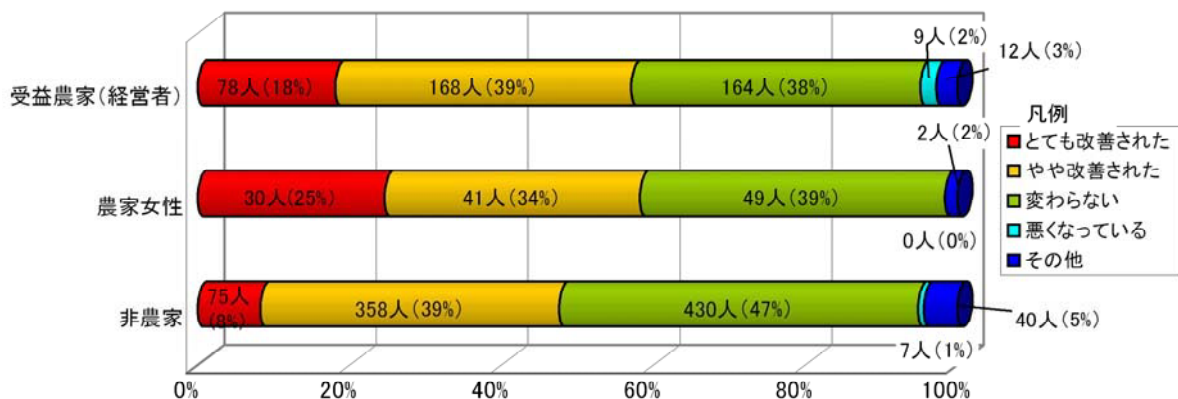
農家女性：回収数469人のうち、無回答を除く133人による回答結果

非農家：回収数958人のうち、無回答を除く925人による回答結果

注2) 「変わらない」または、「利用されていない」の回答は、一般車両が通行し危なくなった、居住地の近くに無い等が主な理由

出典：事後評価アンケート調査結果

### 「共同利用施設が整備されたことによる生活環境の改善」に関する回答結果



注1) 受益農家(経営者)：回収数555人のうち、無回答を除く431人による回答結果

農家女性：回収数469人のうち、無回答を除く122人による回答結果

非農家：回収数958人のうち、無回答を除く910人による回答結果

注2) 「変わらない」または、「悪くなっている」の回答は、居住地の近くに無い等が主な理由

出典：事後評価アンケート調査結果